大野城まどかぴあ男女平等推進センター　アスカーラ
2014. 11. 1発行　　第 188 号

すてっぷ

アスカーラとは…アス+スカーラの造語。アスは明日・未来の意味で、スカーラはイタリア語で、階段やはしごの意味。明日に向かって、みんなで 1 歩づつ階段を上がっていくように男女平等を推進していきましょうという意味です。これからは、アスカーラと呼んでください。

まどかぴあのパープルリボンツリー（平成 25 年度）

▼CONTENTS▼

・事業レポート 「あなたとわたしのための元気塾④」「変わってしまった女と変わりたくない男」
・アスカーラ　講座・イベント案内
・キッズルームでこんにちは
・「女性に対する暴力をなくす週間」を知っていますか？
・相談室のご案内
・ひとりごと
・今月のアスカーラ

あなたとわたしのための元気塾　第４回
「メディアが
男女の付き合い方に及ぼす影響とは」
日にち:9 月 6 日(土)
講　師:阪井　俊文さん
(九州女子大学･北九州市立大学等非常勤講師)

取材を依頼された時、講座のテーマが「メディア・リテラシー」に関することだと聞かされた。なんだろう？リテラシー？外来語音痴の私の頭の中は「はてなマーク」がいっぱいである。60 代も後半になると調べるのも少々億劫気味になってきている。調べる気もなく日にちが過ぎて講演当日が来てしまった。会場であるまどかぴあ 303 会議室に行って見ると、室内は女性が大多数を占め男性は 6 名だけ。そのなかの一人の若者が講師だった。

文化社会学、特に「恋愛」という人間関係のあり方についての研究をしている講師。

ジェンダーをひも解けば・・・

話は「ジェンダー」とは何か？から始まった。これは社会・文化的な“性”のことで、性別役割など多元的な概念をいう。日本的に云うならば「男らしさ」「女らしさ」に相当するらしい。そこで、日本のテレビに見るジェンダー表現のパターンが紹介された。

①**性差別表現**➡女性と男性の間の不均等や女性と男性とでの二重基準、女性と男性の間の上下関係等を表す（ニュース番組の例）

②**性別役割固定表現**➡女性と男性の性別役割や性別ステレオタイプの強調（テレビ漫画のドラえもんやサザエさん）

③**性の商品化表現**➡女性の若さやセクシュアリティを強調する一部のスポーツ番組が挙げられた。これらは少しずつ減少傾向にあるそうだ。

④**男女の差異に関する擬似科学言説**➡大学教授・カウンセラー・○○研究家といった肩書きの権威や専門性を後ろ盾にした、あたかも科学的根拠に基づいているように見える表現が、増加傾向にあると指摘された。

メディア・リテラシー後進国日本

リテラシーなる言葉がなかなか出て来ないなあと思っていたところに「日本はメディア・リテラシーが低い」との指摘。要約すると「メディアによってもたらされる情報を批判的に読み解き、情報の信憑性を的確に判断し、有効に利用するための能力」を意味するそうである。欧米では、教育カリキュラムに取り入れられている例が多いと紹介された。物事を見極める思考法や能力は一朝一夕に出来るものではないので、日本でも中・高校時代に取り入れて、継続的にトレーニングをやる必要があると講師は主張していた。例として、講師は前段に話した四つ目のジェンダー表現のテレビ番組「女子力アップ相談室」に再度触れ、無意識に「裏側の目的」を推察できるようになることが必要であると力説。番組制作側は**＜視聴者の女子に魅力ある女子になってほしい＞**と云う想いがあるのかもしれない。しかし**＜こういう内容なら視聴率があがるだろう＞**とか**＜大学教授に解説させれば誰も文句を言わないだろう＞**という意図もあるのではと、批判的に読み解く能力を養う必要があると強調。さらに国はこの件に関してなかなか腰を上げてくれないので、自治体が研修を主催する必要性があると講師は訴えた。

私も同感である。一時期、ディベートなる手法が流行し、学校や会社の研修でトレーニングを行ったこともあった。が、相手を説得・納得させる論術を会得する前にリテラシーなる能力を養う方が先に必要かもしれない。

（情報サポーター　倉町 賢一郎）

2014年11月のアスカーラ主催講座のご案内

秋も深まってきました。街路の木々も美しい色をまとい、行き交う人々を楽しませてくれます。どこまでも高い空と澄んだ空気に、収穫の時期を迎えた野菜や果物。頭と心のごちそうは、アスカーラでどうぞ。皆さんのご来館をお待ちしています。

あなたとわたしのハートフルステージ

林真理子 講演会

平成27年1月20日（火）

<時　間>18時30分開演／18時00分開場
<会　場>大ホール（まどかぴあ1階）全席自由
<料　金>500円（当日券600円）

お買い求めはお早めに！

チケット発売中　取扱い　まどかぴあ総合案内

友の会会員割引有

豊かな感性と率直な描写で数々の日本女性を多彩に描く、ベストセラー作家　林真理子さんが初来館！
あふれるユーモアとエスプリの効いた講演をお楽しみに。
福岡にゆかりある名作「白蓮れんれん」の秘話も出るかも…。

近年は、著書「野心のすすめ」で新しいファン層も獲得。直木賞の選考委員も務める林さん。

大野城まどかぴあ　市民グループ活動支援事業

日　時・会　場	講　座・イベント	講　師・テーマ・料　金など
①11月3日(月･祝) 14:00～16:00 303会議室(3階) ②12月14日(日) 10:00～12:00 306会議室(3階)	**ﾊﾟﾊﾟママ応援講座** ①どうする？仕事と育児 ②年末大掃除前に **『お片付けボード』を使って** **楽しく学ぼう！整理の基本** ＜主催＞パパママちかっぱ応援団	講師：①小崎恭弘(大阪教育大学准教授) ②野口勝利(整理収納ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ) 対象：興味関心のある方 定員：①40名　②20名 参加料：無料
11月16日(日) ①0～1歳　10:00～11:20 和会議室(2階) ②2～3歳　11:00～12:20 リハーサル室(1階)	**わらべうたとしゃべり場** **～パパの気持ち・ママの気持ち～** ＜主催･申込先＞大野城子ども劇場	講師：川中美樹(山の音楽舎) 対象：乳幼児親子 定員：各回10組 参加料：500円(親子1組) 申込先：電話　092(572)0544 FAX　092(572)9341
11月29日(土) 13:30～15:30 303会議室(3階)	**今こそ　輝く　地域力** ～問題解決のための ロジカルシンキング～ ＜主催＞女性ネットワーク大野城	講師：深月敬子(㈱ウイルブレイン取締役) 対象：興味関心のある方 定員：40名 参加料：無料
12月13日(土) 13:30～15:30 306会議室(3階)	**子どもの未来を考える講演会** ＜主催＞大野城女性の会	講師：柳淑子 (前福岡県男女共同参画審議会委員) 対象：興味関心のある方 定員：40名 参加料：無料

講座、イベント等のお申し込み・お問い合わせは
★男女平等推進センター　アスカーラ★
〒816-0934 大野城市曙町2丁目3番1号
TEL（092）586-4030　FAX（092）586-4031
ホームページ http://www.madokapia.or.jp/
開館日時/月曜日～金曜日　9時～19時　　土･日･祝日　9時～17時
閉　館　日/第1・3水曜日　　年末年始/12月28日～1月4日

右下のマークのある講座・ｲﾍﾞﾝﾄは託児　が利用できます。
開催日の1週間前　までにお申し込みください。
・1人1回600円
・満1歳～
　小学校就学前まで

＜利用時間＞
10：00～15：00
＜場　　所＞
まどかぴあ3階

※予約はいりません
※参加料は無料です
※未就学児が対象です

今月のお楽しみ情報

○11月4、11、18、25日（火）10:30～
担当：おひざでだっこ
「おはなしのへや」
ぴよぴよ（妊娠中・0歳児）第1・3火曜
よちよち（1・2歳児）　第2・4火曜

○11月12日（水）10:30～
担当：大野城子ども劇場

○11月26日（水）10:30～
担当：大野城市地域貸出文庫

※毎週木曜日10:30～12:00は、
託児サポーター“ママ・ポケット”の見守りがあります。

今月の元気キッズ！

一路くんと奏多くんは、1歳2か月の二卵性の双子ちゃん。今日は、育休中のパパと遊びに来ました。最近のお気に入りは絵本。お話を聞くのも好きだけど、自分でページもめくります（たまにはお口でガブリ）。つみきも2段上手に積めます。パパが大好きな　　元気な二人です。

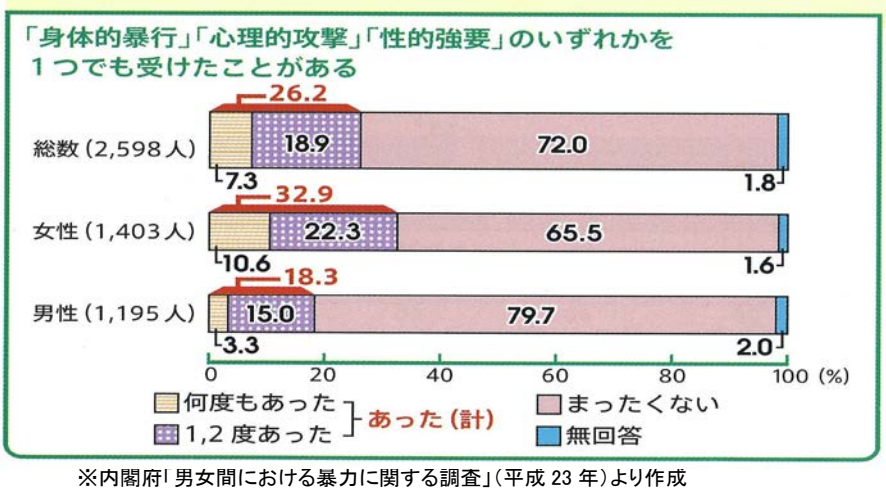
女性に対する暴力をなくす運動
11月12日（水）～11月25日（火）

「女性に対する暴力撤廃国際日」の11月25日までの2週間は、毎年「女性に対する暴力をなくす運動」の実施期間です。女性への配偶者等（夫婦・親子・友人・知人・・・）からの暴力、性犯罪、売買春、セクシャル・ハラスメント、ストーカー行為や人身取引等、女性に対する暴力は、女性の人権を侵害するものであり、決して許される行為ではありません。

性別や年齢などに関係なく、ひとりひとりが個性を活かし前向きに生きることのできる幸せな社会が男女共同参画社会です。その実現のために、大野城まどかぴあ男女平等推進センターでは、無料相談**＜総合相談：平日9時から17時　他に法律相談（月4回）、臨床心理士による相談（月4回）＞**を実施し、啓発周知のための講座等も行っています。期間中は3階アスカーラギャラリーでパネル展示もあり、各種相談機関も紹介していますので、ぜひご覧ください。

「一人で悩まないで。早めの相談が問題解決への第1歩です。」

配偶者からの被害経験（男女別）



※内閣府「男女間における暴力に関する調査」（平成23年）より作成
「男女共同参画をめざして　平成26年度版」）より

女性の約3人に1人は配偶者から被害を受けたことがあり、約10人に1人は何度も受けていることがわかります。
また、配偶者暴力支援センターへの相談件数も年々増加しています。

パープルリボンは、女性に対する暴力をなくす運動のシンボルマークです。

啓発サポーターフォローアップ＜公開＞講座

「変わってしまた女と変わらない男」

日 にち：10 月 4 日（土）

講　師：三浦　清一郎さん

（生涯学習通信「風の便り」編集長）

男性本位主義のカギは“筋肉文化”にあり!?

講師の三浦先生は、昭和の古風な男性というイメージの御年 73 歳。社会教育を専門とする先生にとって「男女共同参画は難しく、なるべく関わりたくないテーマだった」らしい。ある時、講演の打診を受け「男女共同参画は無理ですよね？」と言われて、先生の闘志に火が付き、初めてそれをテーマに講演を行った。だが講演参加者の反応は薄く、早々に用意した内容が終ってしまった。残りの時間を、以前農村の結婚適齢期の男性達と話をされた時の話に充てられた。先生は「家族一緒に一日中農作業をしてクタクタになっても、台所に立つのは母親だろう？一番風呂は父親。そして、泊りがけの研修も男性だったら誰の許可もなく家を空けて出ていくことができる。母親が泊りがけで研修に出かけたらどうなる？町内会長も、PTA 会長もほとんどが男性。でも催しの時の料理は女性が作る。女性を二流市民として扱っている文化を変えていかないと、農村の青年たちは結婚できないまま終わる」と語ったそうだ。途端にそれまで反応の薄かった参加者が顔を上げ真剣に聞き入った。少し強く言い過ぎたか…と先生が後悔していたところ、講演主催者から「先生、最後の 30 分の話は身に染みました。この町にも嫁の来てがなく、最年長は 50 代です」と告げられた。これが先生の男女共同参画を研究するきっかけになった。既存の研究者をかたっぱしから調べ始めたら「男女共同参画」をフェミニズムの視点だけで解く理論には賛同できず、『男女共同参画を語るには男女の筋肉の差がカギ』に行きつかれたそうだ。

「男女共同参画は家事より始めるのが肝要」と講師

変わってしまった女・変わらない男

なぜ『筋肉の差がカギ』なのか？古代は現代のように機械化、自動化されておらず、社会は未成熟だった。毎日の糧を得るため、外敵から自分や家族の身を守るためには『力』が必要だった。その力を男性の『筋肉』に頼った。男性が女性より平均的に「筋肉が発達」していたため、女性の働きは二義的なものとして評価され、**男性優位の文化＝筋肉文化**が出来上がった。だが、道具や武器が機械化・自動化されると、男女の筋力差が事実上解消された。するとこれまでの男性優位の文化が変わるのも当然で、＜男女共同参画の意識と運動＞がはじまった。女性はすでに様々な生活領域で、『筋肉』が必要だった時代とは考え方も生き方も変えてしまった。が、多くの男性は『筋肉』が必要だった頃の優位な時代のままでいたい。そんな「変わってしまった女」と、「変わりたくない男」がどちらも譲らぬままに共に生きようとすれば、衝突は必至だ。こうした問題を解決するには？まずは「変わりたくない男」が「変わること」だが、なかなか…。

女性の未来、男性の未来に・・・

男性が、育児に協力しない・できない、そして核家族の現状では、女性の社会参画と健全な子育ては成立しない。そうして「少子化」時代が到来した。

日本の女性の平均寿命は 87 歳・健康寿命は 73 歳で、男性より約 10 年長命だ。女性は約 14 年介護や医療にお世話になることになる。少子高齢化が進む中、老後の生活を年金に頼る現在の社会保障制度だけでは、未来の私たちに安心安全な生活はあり得ない。男性より長生きする女性の孤立と孤独は必然だ。そこで考えられるのは「養育の家庭責任」から「養育の社会化」を実現し、少子化に歯止めをかけることが重要だ。介護問題も同じく。

今回の講演には男性が全体の 3 割弱参加されていた。その中で家事を「している」方は半数弱。「変わりたくない男」はまだまだたくさんいるのだろう。この半数程の男性陣と、もしかして勇気を出して今回講座に参加された男性陣、そして家族の、女性の、子供たちの未来を少しでも真剣に考えている全ての男性陣に、未来を期待して拍手とエールを送りたい。

（情報サポーター　ゴールド）

11月の男女平等推進センター

日	曜	予　　定
1	土	まどかフェスティバル ﾊﾟﾊﾟ・ママのための読書タイム
2	日	まどかフェスティバル
3	月	市民グループ活動支援事業（ﾊﾟﾊﾟママちかっぱ応援団）
4	火	ｶﾗｰｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ２級⑨
5	水	**休館日**
6	木	福祉住環境２級⑬ ママの未来チャレンジ②
7	金	ﾊﾟﾊﾟ・ママのための読書タイム
8	土	ﾊﾟﾊﾟ・ママのための読書タイム わたしたちのワクワクが明日をつくる⑦
9	日	
10	月	福祉住環境２級⑭　託児サポーター定例会
11	火	ｶﾗｰｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ２級⑩ 啓発サポーター定例会
12	水	簿記３級（夜）① 女性に対する暴力をなくす運動週間　開始
13	木	福祉住環境２級⑮ 市民グループ活動支援事業（ままいる）
14	金	ﾊﾟﾊﾟ・ママのための読書タイム　簿記３級（夜）② ママの未来チャレンジ③
15	土	ﾊﾟﾊﾟ・ママのための読書タイム
16	日	市民グループ活動支援事業（大野城子ども劇場）
17	月	簿記３級（夜）③　情報サポーター編集会議
18	火	ｶﾗｰｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ２級⑪ 大野城市男女共生講座⑤ 情報サポーター養成講座①
19	水	**休館日**
20	木	
21	金	ﾊﾟﾊﾟ・ママのための読書タイム 簿記３級（夜）④　ママの未来チャレンジ④
22	土	ﾊﾟﾊﾟ・ママのための読書タイム 男女共同参画出前講座（井の口公民館）
23	日	
24	月	
25	火	女性に対する暴力をなくす運動週間　終了
26	水	簿記３級（夜）⑤　事業サポーター定例会
27	木	情報サポーター養成講座②
28	金	ﾊﾟﾊﾟ・ママのための読書タイム　簿記３級（夜）⑥
29	土	ﾊﾟﾊﾟ・ママのための読書タイム
30	日	

相談のご予約・お問合せは・・・
☎092－586－4035

☆大野城まどかぴあ　相談室のご案内☆

全て相談は無料です。
まずはお電話でお問い合わせください。

■総合相談■　月曜～金曜　９時～17時
※土・日・祝日と休館日はお休みです。
面接相談（要予約）と電話相談ができます。

■臨床心理士による相談■　火曜・木曜　月４回
面接、電話相談。予約してください。
生き方、夫婦・親子関係、対人関係、仕事のこと、DVの相談など、気持ちの整理をしませんか。
臨床心理士が相談を受けます。
＜今月の相談日程＞
11月６日・20・27日（木）、11日（火）

■法律相談■　毎月第1～4木曜日 13時～16時
面接相談のみ。予約してください。
弁護士が相談を受けます。

■おしごと相談■　毎月第２水曜日 10時～12時
面接相談のみ。予約時に①か②をお申し出ください。
①男女不問：賃金未払いや雇用形態、セクハラ等仕事の事なら何でも労働相談員が受けます
②再就職を目指す子育て中などの女性：就職全般のアドバイスを就業アドバイザーが受けます

＊ひとりごと＊　コスモスは、キク科コスモス属、英名 Cosmos・別名：大春車菊（オオハルシャギク）で原産地がメキシコ。日本には、明治20年ごろに渡来したそうです。この時期、水城や大宰府政庁跡で見る、風に吹かれる姿は、赤「愛情」「調和」、白「優美」、ピンク「純潔」の花言葉と和名の秋桜（あきざくら）がピッタリです。眺めていると名曲の１フレーズが想いだされ、♪淡紅の秋桜が秋の日の～この頃涙もろくなった母が庭先でひとつ咳をする…♪と唄声までも聴こえてくるようです。今年、このように格別の思いでこの花を観賞したのは、下大利小学校のかわいい生徒さんから“私たちが大野城市を花いっぱいにしたいと一生懸命に育てました”の言葉と一緒に苗をいただいたから。平野神社を望む市民農園の片隅に植えたところ、小さな苗が太く育ち、立派に多くの花を咲かせてくれました。生徒さんたちの願いに応えられた喜びと同時に、亡き母を偲んだ次第です。
下大利小学校のみなさん、ありがとう(*^_^*)
（情報サポーター　しもおおりだんしゃく）

＜編集＞男女平等推進センター情報サポーター　　＜発行＞大野城まどかぴあ男女平等推進センター　アスカーラ
〒816-0934　福岡県大野城市曙町2-3-1
ＴＥＬ／ 092（586）4030　ＦＡＸ／092（586）4031
相談専用電話／092（586）4035　　ホームページアドレス　http://www.madokapia.or.jp/